

一步踏み出したい  
医療系ベンチャー・  
アカデミアのための  
2-day シンポジウム  
～エコシステムの波に乗るために～

プログラム集

2022.2.3 木 ~ 4 金

Day 1 : エコシステムDay 13:00~18:00

Day 2 : トrendベンチャーDay 13:00~15:30

開催形式

オンライン

主催

厚生労働省 (医政局経済課ベンチャー等支援戦略室)

協力

LINK-J  
Life Science Innovation Network Japan

# プログラム

2022年2月3日（木）

開始時刻	プログラム名・内容	登壇者 ※敬称略
<b>JHVS Venture Award 表彰式</b>		
12:30	<b>JHVS2021 Venture Award 表彰式</b> ※オンライン配信はいたしません。	<p>プレゼンター： ・島村 大（厚生労働省 厚生労働大臣政務官）</p> <p>受賞企業： 〈JHVS2021 Venture Award〉 ・株式会社セルージュン ・株式会社ブレイゾン・セラピューティクス ・ソニア・セラピューティクス株式会社 ・C4U 株式会社 ・iHeart Japan 株式会社 〈JHVS2021 Venture Award 審査員特別賞〉 ・シャーキーテクノロジーズ（愛媛大学） ・TAK-Circulator 株式会社</p>
<b>オープングリマーク・キーノートパネル ～ベンチャーが切り拓く日本の医療の未来～</b>		
13:00	<b>オープングリマーク</b>	・島村 大（厚生労働省 厚生労働大臣政務官）
13:06	<b>キーノートパネル</b> ・コロナ禍を通して見えた、医療産業における変化・課題・チャンス ・変化・課題・チャンスを踏まえ描く日本の医療の未来像とは ・描いた未来像における医療系ベンチャーの位置づけ・期待とは	<p>モデレータ： ・奥田 浩美（株式会社ウィズグループ 代表取締役 一般社団法人ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事）</p> <p>パネリスト： ・池野 文昭（スタンフォード大学バイオデザイン / MedVenture Partners 株式会社 取締役・チーフメディカルオフィサー） ・鍵本 忠尚（株式会社ヘリオス 取締役兼代表執行役社長 CEO）</p>
<b>官公庁事業紹介 ～より効果的な事業連携とは～</b>		
14:15	<b>国のベンチャー支援施策状況紹介</b>	・八巻心太郎（株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 MEDISO プロジェクトマネージャー）
14:21	<b>MEDISO 等厚生労働省ベンチャー支援策紹介</b>	厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室
14:32	<b>InnoHub 紹介</b>	経済産業省 商務情報政策局 商務サービスグループ ヘルスケア産業課
14:43	<b>Plus One 紹介</b>	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）イノベーション推進部
14:54	<b>パネルディスカッション</b> ・MEDISO, InnoHub と Plus One との連携について	<p>モデレータ： ・曾山 明彦（一般社団法人 Life Science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授）</p> <p>パネリスト： ・厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室 ・経済産業省 商務情報政策局 商務サービスグループ ヘルスケア産業課 ・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）イノベーション推進部 ・八巻心太郎（株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&amp;ウェルネス本部 MEDISO プロジェクトマネージャー）</p>
<b>休憩</b>		
<b>MEDISO 特別企画 医療系ベンチャー成功のカギ ～MEDISO 活用事例をもとに～</b>		
15:30	<b>MEDISO 紹介</b>	・八巻心太郎（株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 MEDISO プロジェクトマネージャー）
15:38	<b>MEDISO 活用実績のあるベンチャー紹介</b>	<p>モデレータ： ・橘 正敏（BPM コンサルティングオフィス 代表 / MEDISO サポーター）</p> <p>パネリスト： ・根岸奈津美（株式会社 MOLCURE Head of Corporate Development） ・山田 裕揮（株式会社 Medii 代表取締役医師） ・新倉 雄一（株式会社 Ovenus 代表取締役社長） ・八巻心太郎（株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&amp;ウェルネス本部 MEDISO プロジェクトマネージャー）</p>
15:57	<b>パネルディスカッション</b> ・課題克服の方法、課題克服のためにしていること ・課題克服のための MEDISO の活用方法 ・医療系スタートアップの方々へのエール	

開始時刻	プログラム名・内容	登壇者 ※敬称略
<b>続・エコシステムビルダー図鑑 ～エコシステムの集積から連携へ～</b>		
16:30	<b>エコシステムビルダー・ベンチャー紹介</b>	モデレータ： ・藤本 利夫（武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネジャー）
17:00	<b>パネルディスカッション</b> ・スタートアップエコシステムの現在地・乗り越えるべき課題 ・今後の日本のスタートアップエコシステム形成に向けて求められること～集積から連携への観点から～	パネリスト： ・鷲見 敏雄（Central Japan Startup Ecosystem Consortium 名古屋市 経済局イノベーション推進部 スタートアップ支援室長） ・瀧本 陽介（株式会社ヘルスケアシステムズ 代表取締役） ・橋本 司（福岡地域戦略推進協議会（FDC）シニアマネージャー） ・大和 建太（KAICO 株式会社 代表取締役社長） ・塚本 芳昭（Greater Tokyo Biocommunity（GTB）事務局長 一般財団法人バイオインダストリー協会 専務理事）

## 2022年2月4日（金）

開始時刻	プログラム名・内容	登壇者 ※敬称略
<b>トレンド領域ベンチャーの今 ～プログラム医療機器でビジネスを目指すベンチャーが意識すべきこと～</b>		
13:00	<b>厚生労働省の取り組み紹介</b>	厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室
13:14	<b>ベンチャーの取り組み紹介</b>	・谷川 朋幸（株式会社 CureApp 最高医療責任者（CMO）兼 医師／聖路加国際病院） ・坂野 哲平（株式会社アルム 代表取締役社長）
13:25	<b>パネルディスカッション</b> ・プログラム医療機器でビジネスを目指すベンチャーが意識すべきこと	モデレータ： ・森 卓也（株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 ヘルスケアイノベーショングループ グループリーダー） パネリスト： ・厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室 ・桐山 瑤子（株式会社 MICIN デジタルセラピューティクス事業部 RA スペシャリスト） ・谷川 朋幸（株式会社 CureApp 最高医療責任者（CMO）兼 医師／聖路加国際病院） ・坂野 哲平（株式会社アルム 代表取締役社長）
<b>JHVS2021 Venture Award 受賞者ピッチ</b>		
14:15	<b>JHVS 表彰式説明</b>	・総合司会
14:20	<b>受賞者ピッチ</b>	受賞企業： (JHVS2021 Venture Award) ・羽藤 晋（株式会社セルージュン 代表取締役社長） ・戸須真理子（株式会社プレイゾン・セラピューティクス 取締役会長） ・佐藤 亨（ソニア・セラピューティクス株式会社 代表取締役社長兼 CEO） ・平井 昭光（C4U 株式会社 代表取締役社長） ・古里 恭祐（iHeart Japan 株式会社 取締役管理部部长） (JHVS2021 Venture Award 審査員特別賞) ・徳永 聡（シャークテクノロジーズ（愛媛大学）プロテオサイエンスセンター 経営者候補） ・河府 和義（TAK-Circulator 株式会社 創薬副本部長）
<b>クロージング</b>		
15:10	<b>シンポジウム総括</b>	・本荘 修二（本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長） ・奥田 浩美（株式会社ウィズグループ 代表取締役 一般社団法人ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事） ・曾山 明彦（一般社団法人 Life Science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授） ・厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室

# 登壇者紹介

## JHVS2021 Venture Award 表彰式 / オープニングリマーク

### 島村 大

厚生労働省 厚生労働大臣政務官



東京歯科大学卒業後、横浜市にて歯科クリニックを開業し、歯科医師として活動。神奈川県歯科医師連盟理事長、日本歯科医師連盟理事長を歴任する。平成25年に参議院神奈川県選挙区より自民党公認候補として初当選し国政に進出。平成29年には厚生労働委員長に就任、令和元年に参議院選挙2期目再選。令和3年の岸田内閣発足時に厚生労働大臣政務官就任。医療、子育て支援を担当するほか、内閣府大臣政務官も兼務しワクチン接種推進に携わる。

## キーノートパネル

### 池野 文昭

スタンフォード大学バイオデザイン / MedVenture Partners 株式会社 取締役・チーフメディカルオフィサー



国内で僻地医療を含む地域医療に携わった後渡米。スタンフォード大学で多くの医療機器ベンチャーの研究開発等に創業時から関与し、成功したベンチャーも多数。大手も含む豊富なアドバイザー経験を有し、日米の医療事情に精通。同大学では14年から医療機器分野の起業家養成講座に携わり、日本版 Biodesign の設立にも深く関与。

### 鍵本 忠尚

株式会社ヘリオス 取締役兼代表執行役社長 CEO



九州大学病院にて医師として勤務の後2005年、1社目の大学発バイオベンチャー、アキュメン株式会社を起業。提携先との共同開発を通じて、大学の研究者のみで発明したシーズとしては始めてFDA新薬承認を得て、デファクトスタンダードとなる。2011年2月、再生医療の実用化を目指し株式会社ヘリオスを設立し、2015年6月、東証マザーズ上場。難治性疾患に苦しむ患者さんへ治療と希望を届ける、という初心の実現に向け、再生・細胞医薬品という新たな産業創生に取り組む。

### 奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役 / 一般社団法人ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事



ムンバイ大学（在学時：インド国立ボンベイ大学）大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。委員：経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等、著書：ワクワクすることだけ、やればいい！（PHP出版）ほか

## 官公庁事業紹介

### 八巻 心太郎

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 MEDISO プロジェクトマネージャー



東京大学大学院修了後、株式会社三菱総合研究所にて医療・介護政策分野の調査研究や、ヘルスケア産業政策分野の調査・コンサルティングに従事。平成29年度より開始した医療系ベンチャー・トータルサポート事業 (MEDISO) のプロジェクトマネージャーとして、医療系ベンチャー企業・アカデミアにおける薬機法対象製品・サービスの開発・実用化を支援。経済産業省事業のヘルスケアベンチャー相談窓口「InnoHub」、東京都の創薬・医療系アクセラレーションプログラム「BlockbusterTOKYO」においてもプロジェクトマネージャーを務める。

### 曾山 明彦

一般社団法人 Life Science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省 (現経済産業省) 入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学 (MBA)。(株) ポストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス (株) の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン (株) ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業 2 社の日本法人社長を経験。2016年 4 月 LINK-J 事務局長に就任。東北大学特任教授 (2020年～)。

## 厚生労働省、経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

## MEDISO 特別企画

### 根岸 奈津美

株式会社 MOLCURE Head of Corporate Development



2022年より株式会社 MOLCURE に参画。新卒で大和証券株式調査部に入社し、セルサイドアナリストとして従事。その後、グローバルメーカー IR を経て、野村證券にて、未上場企業担当アナリストとして IPO 支援を行う。それ以前は、2016年より STRIVE に参画し、SeriesA 前後のスタートアップに投資し、ハンズオン支援を行ってきた。MOLCURE は投資先の一社。

### 山田 裕揮

株式会社 Medii 代表取締役医師



和歌山県出身。自身が厚労省特定難病疾患を持つ患者であり、リウマチ膠原病専門医、医学博士。聖路加国際病院、慶應義塾大学病院を経て自分一人では全ての地域の患者さんを救えないことから、仕組みから地域医療現場を変えることを志し株式会社 Medii を創業。  
経済産業省 JHeC2021 優秀賞 / 住友生命特別賞  
ICC スタートアップカタパルト KYOTO2020 優勝

### 新倉 雄一

株式会社 Ovenus 代表取締役社長



東京大学大学院博士課程修了後、リサーチフェローとして東京大学医科学研究所、ハーバード大学、ワシントン州立大学にて幹細胞・再生研究に従事。東京都が支援するアクセラレータプログラム Blockbuster TOKYO 2021に採択されたのを機に、今年 2 月、卵巣再生の実現を目指した創薬スタートアップ株式会社 Ovenus を設立予定。城西国際大学薬学部の教員として若手の育成にも力を注いでいる。

## 八巻 心太郎

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 MEDISO プロジェクトマネージャー



東京大学大学院修了後、株式会社三菱総合研究所にて医療・介護政策分野の調査研究や、ヘルスケア産業政策分野の調査・コンサルティングに従事。平成29年度より開始した医療系ベンチャー・トータルサポート事業（MEDISO）のプロジェクトマネージャーとして、医療系ベンチャー企業・アカデミアにおける薬機法対象製品・サービスの開発・実用化を支援。経済産業省事業のヘルスケアベンチャー相談窓口「InnoHub」、東京都の創薬・医療系アクセラレーションプログラム「BlockbusterTOKYO」においてもプロジェクトマネージャーを務める。

## 橘 正敏

BPM コンサルティングオフィス代表 / MEDISO サポーター



精密機器企業の医療機器部門にて、25年以上、マーケティング（国内、海外の市場調査、販路開拓）、商品企画、法規制対応、品質システム構築など、製品ライフサイクルにわたる一連の業務に従事、社内、社外を含めた数多くのプロジェクトを管轄した経験を持つ。医療系ベンチャー・トータルサポート事業のサポーターとして、プログラム医療機器等を開発するデジタル系スタートアップへの助言・支援経験を豊富に持つ。

## 続・エコシステムビルダー図鑑

### 武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）



湘南アイパークは、2018年4月に設立された製薬企業発のサイエンスパークです。幅広い業種や規模の産官学が結集し、ヘルスイノベーションを加速する場となることを目指しています。製薬企業のみならず、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタル、行政など約120社、計2,200人以上（2022年1月1日現在）の企業・団体がエコシステムを形成しています。

<https://www.shonan-health-innovation-park.com/>

### Central Japan Startup Ecosystem Consortium 名古屋市 経済局 イノベーション推進部



名古屋市は、中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、浜松市等とコンソーシアムを組成し、スタートアップ企業が持続的に創出され、成長できる環境の整備に取り組んでいる。令和2年7月に政府からスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に選定され、政府とも密に連携することで様々な施策を効果的に実施している。グローバルに活躍をするスタートアップ企業を当地域から数多く輩出し、日本のみならず世界を牽引する新たな産業の創出に繋げていく。

【名古屋スタートアップ推進ポータルサイト <https://nagoya-innovation.jp>】

### 株式会社ヘルスケアシステムズ



ヘルスケアシステムズは、消費者と企業における生活習慣のミスマッチをゼロにすることを目標に、生活習慣や健康行動を可視化する郵送検査サービスを行っている名古屋大学発ベンチャーです。20商品の検査ラインナップを有し、自社開発による検査だけでなく、大学や大手企業とのオープンイノベーションを積極的に進めている他、子会社ではコリバクチン生産菌に着目した大腸がんリスク検査や男性妊孕性検査の研究開発も行っている。

## 福岡地域戦略推進協議会「Fukuoka.D.C」(福岡スタートアップ・コンソーシアム事務局)



地域の成長戦略の策定から推進までを一貫して行う産官学民一体の Think & Do タンクです。福岡市との共同提案による「グローバル創業・雇用創出特区」による規制緩和など、行政政策と連動した事業性のあるプロジェクトを推進しています。2020年の内閣府グローバル拠点都市選定を機に、福岡スタートアップ・コンソーシアム事務局としてエコシステム形成に向けた取り組みを進めています。

## KAICO 株式会社



昆虫のカイコで組換えタンパク質を開発・生産するプラットフォームを有する九州大学発ベンチャー。試薬・診断薬・ワクチンの原料タンパク質の開発を行っており、ノロウイルス VLP (ウイルス用粒子) を完成させている。独自に経口ワクチン (特許出願中) を開発し動物用、ヒト用への展開を目指している。2020年には新型コロナウイルス (COVID19) のスパイクタンパク質を完成し試薬として販売、現在は抗体測定サービスを提供している。

## Greater Tokyo Biocommunity (GTB) / 一般財団法人バイオインダストリー協会



(一財) バイオインダストリー協会 (JBA) は、バイオインダストリー及び関連産業の発展を図ることにより、我が国の経済の発展及び国民生活の向上に貢献することを目的とする。目的達成のため、「産官学や異分野とのハブ機能の効果的活用によるオープンイノベーション推進」「JBA の機能をフル活用したパイオ戦略推進支援」「新規ビジネスに繋がる情報の発信と新規事業創出の推進」等を重点施策として活動している。

### 藤本 利夫

武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネジャー



京都大学医学部卒、医師。神戸大学経営学部経営学修士。卒後12年一般胸部外科医として日本、ドイツ、アメリカで臨床に従事する。2006年からイーライリリー社において臨床開発・市販後業務に携わる。2011年から研究開発本部長、2015年から取締役副社長。2017年12月より湘南アイパークの立ち上げのため武田薬品工業株式会社に入社、2021年1月より日本橋本社 GCA、グローバルパブリックアフェアーズ ヘッドを兼務。

## トレンド領域ベンチャーの今

### 谷川 朋幸

株式会社 CureApp 最高医療責任者 (CMO) 兼 医師 / 聖路加国際病院



東京大学法学部卒 / 滋賀医科大学医学部卒  
株式会社ソニーを経て医師の道へ。亀田総合病院、聖路加国際病院勤務の後、聖路加国際大学公衆衛生大学院修了。CureApp にて CMO として薬事、臨床開発、学術業務を所管。臨床医としての勤務も継続しており、聖路加国際病院ではデータベース研究にも従事。

### 坂野 哲平

株式会社アルム 代表取締役社長



株式会社アルム、創業 CEO。早稲田大学卒業と同時に起業し、動画配信事業に従事。事業売却を機に医療 ICT 事業へ参入し、2015年にアルムに商号変更した。医療機器プログラムの研究開発から販売までを手がけ、世界30カ国で展開している。医療者間コミュニケーションアプリ Join は、日本初の保険適用ソフトウエア、救急医療のデファクトとなりつつある。新型コロナの療養管理システム、PCR 検査事業、防疫システム等の感染症対策事業も展開する。

## 桐山 瑤子

株式会社 MICIN デジタルセラピューティクス事業部 RA スペシャリスト



国立国際医療研究センター病院救命救急センターにて医師として従事後、医薬品医療機器総合機構で医療機器の審査・開発支援に携わる

2019年より、株式会社 MICIN にてデジタルヘルスに関連する医療機器開発、オンライン診療システムの開発に関わりながら、public affairs として活動

令和3年度～ 医機連 プログラム WG 規制・保険 subWG 委員

## 森 卓也

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部 ヘルスケアイノベーショングループ グループリーダー



官公庁や大学を顧客として科学技術・イノベーション政策、特にアカデミアの研究成果の実用化（産学連携・医工連携）に係る制度設計・事業支援に従事。近年は医療系ベンチャーや産学コンソーシアムを対象とした AMED 研究開発事業の伴走支援業務、医療系ベンチャー・トータルサポートオフィス（MEDISO）や医療機器開発支援ネットワーク（MEDIC）など医療分野のベンチャー・新規参入支援業務を担当。

## 厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室

## JHVS2021 Venture Award 表彰式

### JHVS2021 Venture Award

医薬品、医療機器、再生医療等製品に結びつくことが期待されるシーズを有するベンチャーやアカデミア、個人等のうち、実用化の可能性、シーズのポテンシャル、プレゼン技術等を総合的に判断し、将来性があると考えられるベンチャー企業

## 株式会社セルージョン



セルージョンは、iPS 細胞を利用した新しい角膜再生医療の創出を目指しています。

これまでの水疱性角膜症の治療には、高度な技術を持つ専門医、角膜ドナー、アイバンクという社会インフラなどが供給制約となっていました。

セルージョンは角膜内皮代替細胞を iPS 細胞から大量培養することで、これらの課題を解消するほか、合併症の危険や手術の簡易化を促進。角膜移植の限界を変える技術で世界の視野を良好にします。

<https://cellusion.jp>

## 株式会社ブレイゾン・セラピューティクス



「Brain Access<sup>®</sup>、CNS 疾患治療のための新たな挑戦」

ブレイゾン・セラピューティクスは、高分子ポリマーを用いたナノパーティクルに薬剤を内包し、その表面を血液脳関門を突破するための分子で修飾することにより、これまで難しいと言われてきた脳への薬物送達技術を開発している。特に、核酸医薬や抗体といった次世代医薬品の送達を可能にし、製薬会社との共同開発を進めている。

<https://braizon.com/>

## ソニア・セラピューティクス株式会社



「難治癌に対する世界初のキャビテーション気泡援用超音波ガイド下HIFU治療装置」  
ソニア・セラピューティクスは、超音波イメージガイドで標的をリアルタイムにモニタリングしながら強力集束超音波（HIFU）で発生させたキャビテーション気泡を活用して癌を加熱、壊死させるキャビテーション気泡援用超音波ガイド下HIFU治療装置を開発している。膵癌を対象に2022年に治験を計画し、海外展開および他癌種への展開にも取り組んでいる。

<https://www.sonire-therapeutics.com>

## C4U 株式会社



C4U 株式会社は真下知士博士（現東京大学医科学研究所教授）らが発明したCRISPR-Cas3系ゲノム編集技術の社会実装に向けて2018年3月に設立された、大阪大学発のバイオベンチャー企業です。この新規ゲノム編集技術を用いて、難治性疾患に対する新規の遺伝子治療の開発に取り組むほか、企業との提携や研究機関との共同研究により、医薬品のみならず農業・工業など幅広い産業で応用されるプラットフォーム技術としても、社会貢献することを目指しています。

<https://www.crispr4u.jp>

## iHeart Japan 株式会社



iPS細胞から作り出した心臓や血管の細胞を用いた、心不全を治療する再生医療製品の開発を行っています。旗艦製品であるIHJ-301は、致命的な難病である拡張型心筋症などの重症心不全の治療を目的とした、iPS細胞を原料とする心血管系細胞の多層体です。私たちは、再生医療の実現によって心臓移植が要らない社会を作ることを目指します。

iHeart

<http://www.iheartjapan.jp>

## 審査員特別賞

審査員2者が独自に選出した、特に高い実用化の可能性、シーズのポテンシャルがあると期待するベンチャー企業

## シャークキーテクノロジーズ（愛媛大学）



「サメ由来シングルドメイン抗体を創出するプラットフォーム開発」

私たちは小型のサメを用いてVNAR抗体を開発するプラットフォームの事業化に取り組んでいる。VNARはIgG抗体の10分の1と小さく、生産性や改変自由度に優れた次世代抗体である。VNARをユーザーの要望に応じて開発・提供することで、医薬品や診断キットをはじめとした抗体利用の新しい可能性を提案し、抗体産業のさらなる発展に寄与することを目指している。

<http://www.pros.ehime-u.ac.jp/proteodrugdiscovery/cn6/pg19.html>

## TAK-Circulator 株式会社



TAK-Circulatorはアンメット・メディカル・ニーズに応えるための新薬創出に取り組んでいる。TAKC-02はステロイド抵抗性難治重症喘息の治療薬候補でありMex3B（RNA結合タンパク質）mRNAを標的としたアンチセンス核酸である。今後適応症の拡大やパイプラインの拡充を通して、経営理念である「ヘルスケア分野から健康に美しく長く生きるをサポートし、社会に貢献する」の実現を目指している。

<https://tak-circ.com/index.html>

※本表彰については、開発中の製品・技術について法律上の適合性を担保するものではありません。

## クロージング

### 本庄 修二

本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長



新事業を中心に、日米の大企業・ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Global、始動 Next Innovator 他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学 MBA 客員教授。BCG 東京、米 Computer Sciences Corporation、CSK/セガ・グループ会長付、投資育成会社 General Atlantic 日本代表などを経て、現在に至る。ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士（学術：国際経営）

### 奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役 / 一般社団法人ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス 代表理事



ムンバイ大学（在学時：インド国立ボンベイ大学）大学院社会福祉課程修了。1991年に IT 特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対し IT で何が出来るかを検証する事業を開始。委員：経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等、著書：ワクワクすることだけ、やればいい！（PHP 出版）ほか

### 曾山 明彦

一般社団法人 Life Science Innovation Network Japan 常務理事 / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省（現経済産業省）入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学（MBA）。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス（株）の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業 2 社の日本法人社長を経験。2016年 4 月 LINK-J 事務局長に就任。東北大学特任教授（2020年～）。

## 厚生労働省医政局経済課ベンチャー等支援戦略室

